

第2弾 水辺のエコアップ作戦&ワクワク農村づくり

昔は、毎日飽きずに川や水路であそんでた。
今だって、丹波篠山はそんな場所にできるはず。

こどもたちに 水遊びができる 丹波篠山を。

(昭和35年頃の野々垣川。山口喜昭氏提供)



「エコアップ」とは、日曜大工感覚で、手軽に取り組める自然再生のことです。あなたの近所の水辺も、ほんのひと工夫を加えるだけで、生き物にとってより良いすみかになります。子どもたちのために、生き物がいっぱいいて、安全に遊べる水辺を一緒につくりませんか？

02 田んぼの魚道

(水田魚道)



↑
水路から田んぼに
魚がのぼる！

「えっ、田んぼに魚道ってナニ?!」とびっくり。誰でも知ってるフナ、コイ、ナマズ、ドジョウって、本当は田んぼで卵を産みたい魚なんです。水路から田んぼに入れず、仕方なく水路で産んでいます。そこで！田んぼに行きたい小さな魚のために水路と田んぼをつなぐ登り道「魚道」が登場。雨で田んぼからあふれた水が流れるだけでOK。田んぼに魚がいっぱいいると雑草も生えにくくなるし、一石二鳥！

材料費は場所によって1~3万円程度かかりますが、落水口に差し込むだけの管型や、田んぼからの排水路を兼ねるタイプもあるので、安くできることも。

03 コウノトリの餌場

(休耕田ビオトープ)



丹波篠山にもコウノトリがよく飛んでくるようになりました。コウノトリはちょっと臆病で狭い川に降りず、開けた場所で餌を食べます。まさに田んぼ！どうしても田んぼができなくなったり、使っていない場所で水を溜めて、生き物がいっぱいやってくればそこはもうコウノトリの餌場に。

トラクターがあれば簡単にできるけど。維持するのが結構大変。陸地化しないように草刈りや深さを管理したり。1人じゃなくて、何人かのチームや地域で取り組むといいかも。

今すぐ簡単にできる

エコアップ 水辺のDIY

生き物をもっと増やす水辺づくりDIYをやってみませんか？ここで、紹介するのは増水時などは簡単に移動したり、取り外せるものばかり。

川にモノを設置する場合には特別な許可が必要ですが、農業水路の場合は地域の方と合意ができればOK。また、材料費などの購入補助する制度もありますので、気軽に挑戦を！
※巻末に補助制度を記載。

わからないことがあれば専門家が技術的な相談に乗りますので、お気軽にお問い合わせください。

01 田んぼの深み

(堀り上げ、江、承水路)



↑
田んぼの横に
溝をつくる

田んぼと畦の間、田んぼと山際の間など、じわ〜と水がしみ出してくるような場所で、排水用に掘った溝を堀り上げとか、江などといいます。実は、ここをトンボやカエルが産卵場につかっていたり、ドジョウのすみかになっていることも。

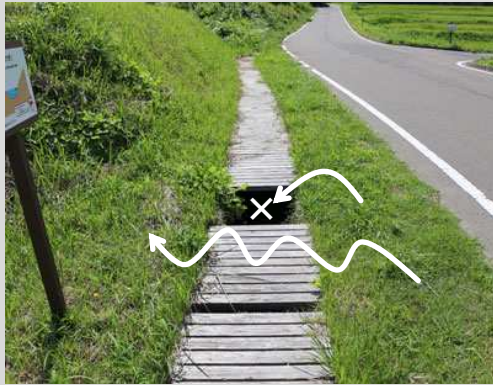
クワやシャベル1本あればできるお手軽DIY。幅は20~30cmもあれば十分ですが、深さが大事。田んぼの水がなくなっても水たまりができるように、田んぼよりも10~20cmくらい深くしておくgood！



アマガエルくんには
さあ〜、吸盤あるん
だよ。トノサマガ
エルは吸盤がないか
らさ、落ちちゃうと
あがれないんだよ。
溝にフタつけてくれ
てありがたいわあ〜。

06 カエル転落防止

(水路のふた掛け)



07 カエル脱出法

(カエルネット、スロープ、シュロ縄)



おおっ、コレ、助かる
わ〜。シュロ縄と木と
か、簡単なもので十分
あがれる！

人間もいいことしてく
れるなあ〜。



04 石積みスロープ



傾斜が急な場所ではどうしても水路に落差が
できて、ヘビやカエルが登れず干からびてし
まうことも...。石を積むだけで、魚には不向
きだけど、ヘビやカエルならバッチリ。

石は現場近くのもので、大きい石がひとつあ
るだけでもOK。どうしても石がなければ土
嚢を積んでも、コンクリートブロックでも効
果は十分。

05 魚の隠れ場



※栃木県農地水多面的機能保
全推進協議会HPより転載

魚は、他の大型魚やサギから食べられないよ
うに必死。橋の下や草の陰などのちょっとした
影があれば隠れ場所にぴったり。川や水路
にあればあるほどいいので、水の流れの妨げ
にならないところに試しに置いてみるといい
かも。

U字ブロックを逆さに置くだけの簡単なもの。
他に空洞コンクリートブロックでも、水路に
ある石を積んでもOK。高さがあればカエル
やヘビの脱出にも使えるよ。

地域みんなで

エコアップ!

身近な生き物を守る取り組みや安全に遊べる水辺の取り組みには、市独自の事業や補助金を利用できます。あなたの地域でも、できることからはじめてみませんか？

《生物多様性促進活動補助金》

生物多様性の保全再生活動 最大100,000円

【取り組み例】

- ・中面の**エコアップの取り組み**
- ・生き物の生息状況の調査、保全活動
- ・地域の子供向けの生き物観察会 など

【対象となる経費】

- ・活動用物品の購入費 ・講師への謝礼 など

【補助金の申請方法】

- ・事業実施前に申請書を提出



《土地改良事業補助金・ふるさとの川再生事業 など》

生き物や親水性に配慮した水路・河川整備

【取り組み例】

- ・木や石など自然素材をつかった水路整備
- ・魚道など生き物の生息環境の改善
- ・階段など親水施設の整備 など

【取り組みの進め方】

地域の皆さんからご提案・ご相談をいただいた内容について、事業化の可能性や具体的な事業展開の協議を行い、協議が整ったものを事業化します。

まずは**下記までお問い合わせください。**



＜お問い合わせ先＞

丹波篠山市役所 環境みらい部 農村環境課 創造農村室(本庁舎2階26番窓口)

【TEL】079-552-5013 【FAX】079-552-0619

【E-mail】kankyo_div@city.sasayama.hyogo.jp